

会 議 録

1 会議名	平成25年度第4回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成25年7月22日(月) 午後2時00分～午後4時00分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】 太田正, 神山光男, 山口和子, 川津昭夫, 高橋榮一, 藤枝登茂子, 笹沼志津子, 長谷川良子, 江連脩身, 鈴木敏正, 中山善一, 手塚正義, 長嶋秀子, 高橋みどり, 福嶋 修</p> <p>【事務局】 地域まちづくり担当参事, 地域自治制度担当副参事, 上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員,</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】 なし</p> <p>【記者】 なし</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1)「合併市町村基本計画の執行状況について」の答申(案)について</p> <p>(2)「地域のまちづくりに関する施策の提案」について</p> <p>①「地域のまちづくりに関する施策の提案」の基本的な考え方</p> <p>②「まちづくり提案」の検証・評価・見直しについて</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>

1 開 会	
第4回宇都宮市上河内自治会議開会	
事務局	5人の委員から欠席の連絡を受けており, 出席者数は15名で, 委員の過半数に達しているため, この会議は成立する。
2 会長あいさつ	
太田会長	<p>参議院選挙も終わり, これから腰を据えて, 色々な事をゆっくりと考えることができるのではないかと思う。</p> <p>本日は, 答申書を確定させる。</p> <p>また, 第1次, 第2次, 第3次と3回, 施策の提案を行ってきたとこ</p>

	<p>ろであるが、その進捗状況を検証、評価し、必要な見直しを行っていた べく予定である。最後まで、よろしくお願ひしたい。</p>
3 議 事	(1)「合併市町村基本計画の執行状況について」の答申(案)について
会 長	事務局に説明を求める。
事務局	<p>1 ページの「はじめに」を読み上げた後、2 ページの「道路新設改良 事業」から7 ページ「中学校体育館整備事業」までの6 事業について(意 見)の部分を一読。</p> <p>8 ページ「生涯学習センター整備事業」については(意見)を一読後、 上河内地域自治センターの改修による生涯学習センターとの一体的な整 備について、今年度中に地域の方々との意見交換を開始し整備概要につ いて検討を進め、平成28年度の整備完了をめざす計画である旨を補足 説明。</p> <p>9 ページ「農道整備事業」から11 ページ「地域交流館整備事業」ま での3 事業について、(意見)の部分を一読。</p>
会 長	<p>いくつか変更点があった。</p> <p>全体の構成については前回までにご了解をいただいているので、変更 点を中心に見ていきたいと思う。</p> <p>1 ページの「はじめに」について、変更点があったがいかがか。</p>
全委員	意見・質問等なし。
会 長	<p>2 ページ「道路新設改良事業」から7 ページ「中学校校舎整備事業」 までは変更はない。</p> <p>8 ページ「生涯学習センター整備事業」について、(意見)に変更はな いが、事務局から補足説明があった。</p> <p>ご意見等ないか。</p>
委 員	老朽化が進み、狭隘で、バリアフリー化も進んでいないとの事だが、 現在の建物を再整備するのか、それとも、別の場所に建設するのか。
会 長	進捗状況の説明にもあるとおり、今の生涯学習センターの建物をどう するというのではなく、自治センターとの一体的な整備である。
委 員	以前、自治センターに空間的なゆとりがあるという話があったが、そ の空間を活用して一体的な整備をするということで良いか。
会 長	それで良い。 他にご意見等なければ原案どおりで良いか。
全委員	異議なし。
会 長	9 ページ「農産物直売所等整備事業」は変更なし。10 ページ「農道 整備事業」について、なぜ、意見の最後の方を修正したのか。
事務局	農道整備事業は上河内地域の一部の地区を特定したものではなく、地

	域全体を対象としている計画なので「上河内地域全体」という文言は必要ではないと判断し、「計画的」という言葉を用いて変更したものである。
副会長	当初から地域全体を対象とした計画であれば「上河内地域全体」という文言が入っていても差し支えないのではないかと。
会 長	委員の皆様のご意見はどうか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	実質的な内容は変わらない。元々、地域全体を対象にした計画なので、「上河内地域全体」という文言は不要という判断から修正されたものである。 副会長はいかがか。
副会長	変更された原案でも良いと思う。
会 長	それでは、原案どおりの意見とする。 11ページ「地域交流館整備事業」は、内容は同じだが表現が変更されている。その理由を簡単にご説明いただきたい。
事務局	当初は、「また」と文を改めた最終段落を、自治会議が策定した施策の提案についても十分に考慮されることを望みますという文面にしていましたが、この文が唐突に出てくる形になっている。 実際に提案しているのは高齢者のための施設の拡充で、その中に足湯の設置も含んでいるが、当初の意見の前段でも足湯の設置を求めているので、それに、施策の提案をつなげる形として、全体をスムーズな流れとしたものである。
会 長	文章構成上のつながりを整理したとの事だが、ご意見等あるか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	全体を通して、改めてご意見等ないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	この原案通りの答申として良いか。
全委員	異議なし。
会 長	では、答申書（案）となっているが、（案）を消して、正式な答申書とさせていただきます。 なお、8月28日に私と副会長で市長に答申書を提出する予定であることを報告させていただく。 それでは次の議事に移らせていただく。
(2)「地域のまちづくりに関する施策の提案」について	
会 長	「地域のまちづくりに関する施策の提案」についてであるが、まず、資料2について事務局からご説明いただきたい。
事務局	資料2『地域のまちづくりに関する施策の提案』の基本的な考え方を

	読み上げる。
会 長	<p>今年度初めて自治会議の委員になられた方も多いため、過去3回に渡って提案書を作成してきたことについて、どういう物の考え方に沿ってとりまとめたのか、或いはそのことを踏まえて、今後どういう考え方のもとで進めて行くのか、というようなことについて基本的な提案書の見方、考え方についての説明である。</p> <p>どちらかと言うと抽象的な表現なので、ここからどうするかという案がすぐに出てくるものではないが、まずご覧いただいて、これから提案書の見直し、確定をしていく際に、こうした視点をお持ちいただいた上でご議論いただきたいと思う。</p> <p>事務局から説明があったが、特に自分からお願いしたいのは、先ずより多くの意見を集約した提案にしたいということである。</p> <p>中でも、団体組織推薦の委員の皆様は、その組織内の意見を踏まえてご発言いただくと地域全体の意見の反映に繋がると思う。</p> <p>個人の意見としてご発言いただいても全く構わないが、個人的な意見で終始するのではなく、場面によってはご出身組織としての意向も踏まえながらご発言いただきたいという趣旨であり、自由に発言できなくなるという趣旨ではないことをご理解いただきたい。</p> <p>2つ目に、行政頼みや他人任せということではなくて、自分達として何が出来るかということ念頭に置いてご議論願いたい。</p> <p>3つ目は、10年後の将来像と現状との開きをどう埋めていくのか、具体的に明日から何をすべきなのかを考えて実行性のある提案をしていただくことをお願いしたい。</p> <p>それから、提案内容について、地域が自ら取組む施策（方向性・あるべき姿）を基本とし、個別具体的な行政施策への要望や陳情に終始しないことなど重要な点が書かれている。</p> <p>つまり、先ほど申し上げたように、一人称で考えていただくことが大切で、自分が、あるいは我々が、具体的に何が出来るのか考えていただくのが基本であることをご理解願いたい。</p> <p>裏面に具体的な手法が書いてあるが、取り組み内容を具体的な形で検討するときには「地域でできること」「協働で取り組むこと」「行政に望むこと」というような形で、誰が誰とどうするのかということもあわせて整理していただきたい。</p> <p>以上、概略と、重ねてのお願いを申し上げます。</p> <p>何かご意見あればどうぞ。</p>
全委員	意見・質問なし。
会 長	疑問などご意見があったらその都度聞いていただくとして審議を進め

	させていただきます。よろしいか。
全委員	意見なし。
会 長	次に資料3,「まちづくり提案の検証・評価・見直しについて」説明。 何かご意見,ご質問があれば。
委 員	3つの目標があるが,グループごとに目標を決めて検証するのか。
事務局	今回はグループごとに,3つの目標全てについて検証していただく。
会 長	どんなことでも構わない。ご意見,ご質問を気軽に出して欲しい。 具体的には,「産業・経済・交通」編の6ページの3年後までの実行プランを検証していただきたい。
事務局	<p>方法について説明をさせていただきます。今,会長が言われたように「産業・経済・交通」編の6ページのスケジュールに記載のある,3年後までに取組む実行プランについて4段階で評価をしていただきたい。</p> <p>進め方は,各グループでリーダー・速記者等を決めてから協議を始めていただく。なお,事務局で3年後までの欄に記載のある事業について本市や上河内地域の現状について把握している範囲で報告する。</p> <p>まず,方策1の地域農産物を生かした特産物やブランド化の推進の宇都宮市の現状については,市やブランド推進協議会が中心となり梨(プレミアム13)とかトマトをブランド農産物として選定をしている。ブランド農産物など良質農産物に対して生産施設等の導入への支援,販売促進の為の試食会やPR活動などに取組んでいる。</p> <p>方策2,観光農園や体験農園の拡充,強化と観光まちづくりとの連携については,上河内地域において地域団体が主体となって観光ゆず園等を活用出来ないか,検討を進めている。</p> <p>また,23年度より宇都宮大学と連携をしてゆず園を活用した蜂蜜の採取等に取組んでいる。</p> <p>地域の観光資源(梵天の湯)を活用した園芸作物の開発と農業振興については,温泉振興会が地域の住民と連携して,蛍の鑑賞会や体験事業(苺摘み,さつまいも堀り等)など地域資源を活用した交流事業等を実施している。</p> <p>方策3,農業法人の設立と農業6次産業化については,全市的な取組みとして,農業生産法人の設立について法人化のメリットとデメリットの説明や専門家の派遣等を行い支援をしている。</p> <p>また,6次産業化については,アグリビジネス創出促進事業を推進している。上河内地域については,引受け等の無い農地や耕作放棄地となる可能性のある農地などの受け皿となる農業生産法人がJA出資で平成25年8月頃に設立予定となっている。</p> <p>また,アグリビジネス創出促進事業として黒大豆を利用した商品開発</p>

	<p>包括開発プロジェクトを支援している。</p> <p>方策4, 地域資源を利用した観光振興については, 上河内の取組みとして, 市のホームページやスマートフォン等を利用して, 情報アプリに地域資源を掲載し情報発信をしている。</p> <p>また, 観光特産物の販売促進の視点からも上河内地域交流館梵天の湯について, 上河内の特産物の販売に取り組んでいるところである。</p> <p>方策6については, スマートインターチェンジ東側の通学路の歩道の整備として, 本年度用地買収を行い, 26年度完成予定で計画を進めている。</p> <p>方策7, 公共交通の充実については, 全市的な進捗として, 本市では7地区(篠井・富屋・国本・城山・横川・瑞穂野・清原)で地域内交通を行っている。上河内地域については, 平成25年10月からデマンドタクシー方式による地域内交通の試験運行を予定している。</p> <p>進捗等では以上であり, 今のを踏まえて, この3年後までを評価していただきたい。</p>
(5分休憩後, 各グループ検討会)	
会 長	<p>今日はここまでとさせていただきます。</p> <p>事務局から今後についてご説明いただきたい。</p>
事務局	<p>今後については, 今年度, あと3回自治会議を開催させていただく。</p> <p>提案については2年に1度作成しているので, 今ご議論いただいている提案の見直しについては, 27年の2月を目途にまとめていただければと考えている。</p> <p>今回の見直しが一番重要なので, 回数を決めずにしっかりと検証等を行っていきたいと考えている。</p> <p>次回の第5回の自治会議は, 10月頃を予定している。第6回は11月若しくは12月初めに, 第7回は, 2月上旬を予定している。</p> <p>次回については, 早めに皆様の方にご周知させていただく。</p>
4 その他	
会 長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>他に委員の皆様から何かないか。</p> <p>なければ, 本日の議事は終了させていただく。</p>
全委員	意見, 質問なし。
5 閉 会	
会 長	以上で, 平成25年度第4回宇都宮市上河内自治会議を終了する。